

平成25年度

事業報告書
決算報告書

公益財団法人福島県保健衛生協会

平成25年度事業報告書

福島第一原子力発電所においては今なお、汚染水問題をはじめとして多くの課題を抱えており、避難生活を余儀なくされている県民も数多く残されているなど、震災復旧、復興への道のりは依然として厳しいものとなっている。

健康面においても、がん検診や特定健診・特定保健指導の受診率が伸び悩み、一部のがん検診では受診率の低下すらみられている。この様な中で当協会は、避難13市町村を対象とした県民健康管理調査の「健康診査」実施に対しても、積極的に取り組んできたが、受診者数の減少に歯止めをかけることはできなかった。

これら受診率向上を目指して当協会は、福島県、県立医科大学、県医師会等のご指導と協力を得ながら、従前より増して市町村、各医療保険者、関係団体等との連携を強化し、県民の健康保持増進に寄与すべく努力している。その一環として、急性心筋梗塞、脳梗塞等、循環器疾患の死亡率が、全国でも高位置にある本県の憂慮すべき状態を踏まえ、それらの一因とみなされる塩分摂取量の削減を図るため、尿中塩分量の測定事業を実施している。

また、新電算システムの構築に着手し、すでに本年4月からは人間ドック等において稼働を開始し、27年4月からは、巡回検診での運用も予定している。さらに、総合健診センターでは、最新のCT検査機器を導入し、頭部・胸部・腹部・大腸等、CT検査の利用拡大に努めている。

新生児マススクリーニング（先天性代謝異常等検査）においては、平成25年度より新しい検査法である「タンデムマス法」を導入した。これにより従来の検査対象疾患6種類に13種類を加えた19種類の疾患について検査が可能になった。

一方、県の地域啓発活動研修事業「検診からはじまる健康安心復興事業」を受託し、受診率向上に向けて地域及び職域のニーズに即した研修内容を実施してきた。さらには、当協会ホームページに、「健康お役立ち相談室」と「子育てよろず相談室」を開設し、健康に関する多様なコンテンツを提供することなど内容の充実を図った結果、ホームページへの年間訪問者は2万人を超えるまでに至っている。

理化学分析事業では、ゲルマニウム半導体検出装置による食品や飲料水の放射能測定検査を継続して実施し、安全安心につなげてきた。

ついでには、公益財団法人3年目を迎えるに当たり、より公益性の高い事業を推進させ、県民の健康管理とさらなる健康増進のため寄与していきたいと考えている。

1. 協会の運営

(1) 役員会等の開催

- | | |
|--|----|
| ① 理事会 | 2回 |
| ・第3回理事会（平成25年5月29日）
平成24年度事業報告及び決算報告の承認について
評議員会の招集決定について | |
| ・第4回理事会（平成26年3月26日）
平成25年度収支予算の補正について
平成26年度事業計画及び収支予算について | |
| ② 監事会 | 1回 |
| ・平成25年5月21日 | |
| ③ 評議員会 | 1回 |
| ・平成25年6月12日
平成24年度事業報告及び決算報告の承認について
平成25年度事業計画及び収支予算について | |
| ④ 評議員選定委員会 | 1回 |
| ・平成25年5月9日 | |
| ⑤ がん基金審議会 | 1回 |
| ・平成26年2月12日 | |

(2) 専門委員会の開催

- | | |
|-------------------|----|
| ① 消化器集団検診精度管理委員会 | 1回 |
| ② 子宮がん検診精度管理委員会 | 1回 |
| ③ 肺がん集団検診精度管理委員会 | 1回 |
| ④ 循環器集団検診精度管理委員会 | 1回 |
| ⑤ 学校保健集団検診精度管理委員会 | 1回 |
| ⑥ 乳がん集団検診精度管理委員会 | 1回 |

(3) 上部団体並びに関係団体との会議及び大会

- | | |
|-----------------------------------|--|
| ① 公益財団法人日本対がん協会 がん征圧全国大会及び全国支部長会議 | |
|-----------------------------------|--|

- (平成 25 年 9 月 12 日・13 日 於 札幌市)
- ② 公益財団法人結核予防会 結核予防全国大会及び全国支部長会議
(平成 26 年 3 月 13 日・14 日 於 松江市)
 - ③ 公益財団法人予防医学事業中央会 全国大会及び全国運営会議
(平成 25 年 10 月 17 日・18 日 於 福井市)
 - ④ 公益財団法人結核予防会東北北海道ブロック会議
(平成 25 年 9 月 26 日 於 札幌市)
 - ⑤ 公益財団法人日本対がん協会東北北海道ブロック会議
(平成 25 年 10 月 31 日 於 福島市)
 - ⑥ 公益財団法人予防医学事業中央会東北ブロック会議
(平成 25 年 11 月 8 日 於 盛岡市)
 - ⑦ 東北 6 県検診機関懇談会
(平成 25 年 11 月 7 日 於 盛岡市)

(4) 関係機関との会議及び打合せ

- ① 福島県県民健康管理調査「健康診査」に関する打合せ会議
- ② 市町村・郡市医師会健診事業関係会議
- ③ 健康保険組合連合会合同事務打合せ会議
- ④ その他

(5) 平成 25 年度楠賞及び本会永年勤続職員表彰式

(平成 25 年 11 月 19 日 本会会議室)

(6) 平成 25 年度非常勤嘱託職員（保健師・看護師等）永年勤続表彰式

(平成 26 年 2 月 13 日 福島市)

2. 普及啓発活動

(1) 健康教育

県民がすべてのライフステージにおいて、健康で活力あふれる生活が送れるよう、提携団体や市町村が主催する健康づくり事業等に協賛し、医師・保健師・管理栄養士・運動指導士等を派遣するとともに、関係資料の提供や啓発資材の貸し出しを行い、健康に関する思想の普及啓発活動に努めた。

<健康教育研究会>

平成 25 年 9 月 17 日ビックパレットふくしまにおいて、男女とも長寿ランキン

グ1位に輝く長野県の秘訣等を題材として「健康教育研究会」を開催し、市町村及び保健所、健康保険組合の担当者をはじめ事業所の衛生担当者を含めた多くの方々へ向けた講演を行い、広く健康に関する知識の提供と啓発に努めた。

(2) 健康集会

福島県健康を守る婦人連盟との共催で、県内4方部（福島市、棚倉町、会津坂下町、相馬市）で各地区婦人組織を対象とした健康集会を開催した。また、震災後、昨年より再開した浜通り方部の健康集会を、相馬市において開催した。

(3) 街頭キャンペーン

「結核予防週間」、「がん征圧月間」にあわせて、結核とがんの予防思想普及啓発のため、「福島県健康を守る婦人連盟」、「しゃくなげ会」と連携し、いわき市で街頭キャンペーンを実施した。

(4) 広報普及事業

- ① 「結核予防週間」、「がん征圧月間」、「健康増進普及月間」に合わせ、新聞などの広報媒体を通じて、疾病予防に関する知識の普及に努めた。
また、収集したデータを基に分析した研究成果を、ホームページにおいて広く一般に公表した。
- ② 平成25年8月31日から2日間にわたり、福島市のあづま総合体育館において開催された「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2013in 福島」に参加し、検診車による展示ブースを設置すると共に、参加者が横断幕を持って歩き続けることにより、がん検診受診率向上のための普及啓発活動を行った。

(5) 共催事業

平成25年10月6日に福島県医師会館で開催された福島県医師会主催「健康づくりフェスティバル」に参加し、健康測定コーナーや健康相談窓口を開いた。

3. 県民健康管理調査「健康診査」の実施

福島第一原発事故により、福島県及び県立医科大学が実施する県民健康管理調査の「健康診査」に協力し、関係団体との連携を密にして避難区域等住民の健康診査を実施した。

4. 検診・検査事業

疾病予防、健康の保持増進を願う県民の要望に応えるため、県、市町村、事業所等からの委託を受けて検診・検査を実施した。

特定健診・特定保健指導では、関係市町村や保険者と連携を図りながら、精度管理の向上を図るとともに、受診率の向上、運営の効率化等に努めた。

また、がん検診受診率の数値目標が見直されたが、例年に引き続き関係機関の指導と協力の下、各種無料クーポン券による受診機会の向上を含む、早期発見・早期治療を目的とした各種がん検診の受診率向上に努めた。

本年度の各種検診、検査の実績は次のとおりである。

	(25年度実績)	(24年度実績)
(1) 結核検診		
① 学校保健	20,452人	(21,020人)
② 地域検診	73,771人	(71,084人)
③ 労働衛生		
ア 間接撮影	16,236人	(15,026人)
イ 直接撮影	362人	(357人)
④ 精密検診		
ア 精密検診	1人	(2人)
イ 直接撮影	0人	(2人)
(2) 胃がん検診		
① 地域検診	53,984人	(55,781人)
② 労働衛生	40,794人	(41,641人)
(3) 子宮がん検診		
① 子宮頸がん車検診		
ア 地域検診	20,011人	(20,191人)
イ 労働衛生	3,980人	(4,063人)
② 子宮がん施設検診		
ア 地域検診	47,979人	(49,440人)
イ 労働衛生	1,226人	(1,293人)
③ 子宮体がん施設検診	125人	(174人)
④ 子宮がん施設精密検診		
ア 組織診検査	530人	(635人)
イ 細胞診検査	1,686人	(1,737人)
(4) 肺がん検診		

① 地域検診		
ア 肺がん検診（喀痰）	6,505人	（6,348人）
イ 肺がん検診（肺野部）	119,908人	（120,190人）
② 労働衛生		
ア 肺がん検診（喀痰）	2,285人	（2,373人）
イ 肺がん検診（肺野部）	63,394人	（67,108人）
(5) 乳がん検診		
① 地域検診	16,852人	（16,345人）
② 労働衛生	2,611人	（2,601人）
(6) 大腸がん検診		
① 地域検診	76,813人	（74,597人）
② 労働衛生	40,914人	（40,207人）
(7) 特定健康診査		
① 特定健康診査	86,279人	（87,341人）
② 特定保健指導	585人	（750人）
(8) 骨粗鬆症検診		
① 地域検診	12,214人	（11,877人）
② 労働衛生	1,136人	（936人）
(9) 臨床検査		
① 学校保健		
ア 寄生虫検査	81,987件	（84,758件）
イ 尿検査	165,550件	（171,428件）
ウ 心電図検査	74,561件	（75,207件）
エ 血液検査	28,666件	（29,245件）
オ その他の検査	13,098件	（14,483件）
② 地域検診		
ア 血液検査	133,501件	（110,577件）
P S A検査	28,543件	（25,963件）
イ 健康診査（含生活機能）	28,183人	（30,937人）
ウ 県民健康管理調査（健康診査）	36,489件	（42,382件）
エ その他の検査	97,619件	（93,928件）
③ 労働衛生		
ア 心電図検査	65,439件	（67,063件）
イ 眼底検査	41,602件	（42,469件）
ウ 尿検査	36,394件	（36,667件）

エ	血液検査	235,905件	(227,026件)
オ	健康診断	63,277件	(64,388件)
カ	血圧測定	34,916件	(34,888件)
キ	聴力検査	51,501件	(51,621件)
ク	健康保持増進事業	1,305件	(3,472件)
ケ	その他の検査	107,247件	(103,319件)
④	特殊健診		
ア	有機溶剤健康診断	5,905件	(5,687件)
イ	鉛健康診断	697件	(672件)
ウ	じん肺健康診断	324件	(216件)
エ	騒音健康診断	550件	(690件)
オ	VDT健康診断	5,388件	(5,377件)
カ	その他の検査	2,858件	(2,580件)
⑤	保菌検査	16,663件	(18,438件)
⑥	医療機関からの受託検査		
ア	一般臨床検査	7,082件	(7,874件)
イ	病理組織診検査	2,322件	(2,211件)
ウ	細胞診検査	23,040件	(22,183件)
⑦	母子保健		
ア	先天性代謝異常等検査	17,677件	(15,670件)
(10)	口腔健康診査（歯周病検診）		
①	地域検診	282人	(372人)
②	労働衛生	844人	(1,378人)
(11)	健康づくり事業		
①	健康づくり事業	60件	(66件)
②	総合健康管理受託事業	5件	(5件)
(12)	理化学分析事業		
①	水質検査	7,879件	(7,965件)
②	大気測定	639件	(498件)
③	食品検査	8,903件	(8,968件)
④	環境衛生	5,529件	(5,538件)
⑤	環境調査	3件	(3件)
⑥	作業環境測定	189件	(195件)
⑦	放射能測定業務	3,404件	(3,076件)

5. 複十字シール運動

結核予防思想の普及と、結核及び肺がんの根絶を目的とした事業資金確保のために、関係機関の協力を得て「複十字シール募金運動」を展開し、下記の成果を得た。

運動期間	平成 25 年 8 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日
募金実績額	3,007,034 円
(募金目標額	3,500,000 円)

6. がん基金事業

がん基金事業として、がん予防対策のための思想普及啓発事業（巡回セミナー開催、啓発冊子の作成、新聞広報）及びがん予防思想普及団体への助成を実施した。

なお、平成 25 年度末における基金額は、267,557,067 円である。

7. 総合健診センターの運営

結核の健康診断と治療、胃がん、子宮がん、大腸がん等の集団検診後における精密検診、健康診断を実施するとともに、「人間ドック」、「協会けんぽ生活習慣病予防健診」等の健康診断を実施し、被保険者及び被扶養者の健康の保持増進に努めた。

	(25 年度実績)	(24 年度実績)
① 人間ドック	3,336人	(3,368人)
② 結核検診	1人	(10人)
③ 二次精検	1,265人	(696人)
④ 健康診断	4,858人	(6,593人)
⑤ 予防接種等	2,420人	(2,518人)

8. 事後管理指導

各種集団検診にかかる事後管理指導は、市町村や事業所の保健師、検診担当者等との連携と協力のもとに実施し、集団検診の諸統計をとりまとめ、市町村、関係機関・団体等に資料として提供した。

また、健診・検査・理化学分析に関する相談窓口を設置するとともに、ホームページで広く一般に公表して、相談者に対し健康管理に関する助言やアドバイスを行った。

9. 調査研究・研修

職員の資質向上と技術の習得のため、全国規模の技術研修会・大会、学術研修会等に積極的に参加させるとともに、学会発表等を行い資質の向上と専門技術の研鑽に努めた。

10. 施設・設備の整備

(1) 集団検診車及び車両関係の整備

胸部デジタルX線検診車「ひまわり23号」他	1台	76,465,000円
(リースによる整備)		
健診スタッフ移動車	2台	

(2) 検診・検査機器等の整備

検診・検査機器の更新及び精度の向上、効率化を図るための什器備品等の整備を図った。

生化学自動分析装置	他 31件	87,333,708円
超音波診断装置		
ガスクロマトグラフ		

(3) 建物の整備

県南地区センタープレハブ倉庫設置工事	他 2件	4,352,716円
会津地区センタープレハブ倉庫設置工事		
サーバー用電源工事		

(4) リース資産

全身用X線CT診断装置		111,579,216円
多項目自動血球分析装置		
PACS関連経費		
SUMMITSサーバーハードウェア一式		

(5) ソフトウェアの整備

新情報システム開発経費	他 9件	87,089,963円
特定保健指導電算システムカスタマイズ		